

平成 29 年度 自己評価書（設置者・園長等 管理職編）

◎保護者に伝わる発信方法への取り組み

保護者の意見を取り入れて、改善を図る試みを行っている。また、学年だよりや写真など視覚に訴える発信を意識している。ホームページは、時期によって発信数の偏りが出てしまったので改善がいる。個人的に口頭で伝えることを丁寧にしようとしているが、バス通園の子どもや仕事で多忙な保護者には十分でない。該当の保護者にも発信をより意識していく必要がある。

◎幼児の体力の向上

子どもが楽しんで体を動かしたくなる環境が用意されている。雨天時はサーキット遊びを充実させ、トランポリンも活用。子どもが励みになるような保育者の働きかけも、積極的に行われている。30年度も継続していく。

◎園内の環境整備に積極的に努める

ままごと玩具の充実、図鑑の購入など、室内環境は定期的に話し合うなどして整えられてきている。物的環境の効果的な使い方を、共通のねらいをもって幼児に働きかけていく必要があるが、担任に任されているところも多い。

◎年間計画に沿って訓練を行い、安全・防犯について知識を深める

昨年度の反省に基づき、より効果的な訓練が行えている。繰り返すことによって、咄嗟の時に取るべき行動が幼児の身についてきている。むしろ保育者の方が慌てるとミスが出ている。危機感を持って訓練に参加する姿勢が弱い印象も受ける。

◎主体性を育てる保育を行うための取り組み

外部講師を招き、学期ごとに絵画を中心とした園内研修を受けることができた。その中で得た事や学んだ事を踏まえ、カリキュラムの見直しを行い、主体性を育てる保育について考え、工夫する機会を得ている。引き続き深めていく。